

第1章 網走市農業の現状

1. 地理的条件

本市は、北海道オホーツク総合振興局管内の東南部に位置し、西は北見市、南は大空町、東は小清水町、北はオホーツク海に面し、東西33.2km、南北37.7km、総面積47,100ha（うち湖沼面積10,193ha）を有しています。

地形は、中心市街地と南側丘陵台地はほとんどが緩やかな平坦地ですが、その周辺は一部波状傾斜地及び高台となっています。

土地利用状況では、全体の約30%が農用地となっています。

2. 気象条件

オホーツク海型気候地域としての特色を有し、一般的に夏の季節風は弱く、台風などの被害はあまり見られないと言われていましたが、近年、台風やゲリラ豪雨など、過去になかった異常気象をもたらす傾向が多くなってきています。また、時折、オホーツク海高気圧による北東風が作物の生育に影響を及ぼすこともあります。しかし、全般的には雨量も少なく、年日照率も高いことから北海道の中でも特に気象条件に恵まれている地域となっています。

また、冬季の特殊現象として流氷が到来し、例年1月中旬から3月下旬まで海上は氷で覆われます。

平均気温（4月～11月 ※農耕期間） (単位：℃)

年次/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年平均
H27	6.2	11.7	12.3	18.6	18.6	16.2	10.1	3.7	7.6
H28	4.2	12.6	12.4	17.6	21.7	16.8	9.1	0.4	6.8
H29	5.3	11.1	12.4	19.8	18.4	16.3	9.5	3.3	6.8

(網走地方気象台)

降水量（4月～11月 ※農耕期間） (単位：mm)

年次/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年合計
H27	25.5	42.0	84.0	80.0	64.0	153.0	212.0	88.5	1,011.0
H28	64.5	36.5	116.0	93.5	425.0	116.0	62.5	61.0	1,206.0
H29	19.0	61.5	192.5	70.5	34.5	90.5	141.5	46.5	803.0

(網走地方気象台)

日照時間（4月～11月 ※農耕期間） (単位：h)

年次/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年合計
H27	218.3	238.5	145.0	189.1	159.5	157.1	181.0	90.2	1,853.0
H28	155.1	242.2	180.5	190.1	199.2	143.7	149.4	102.5	1,934.0
H29	202.4	187.4	152.9	188.8	107.7	178.9	162.9	143.5	1,848.3

(網走地方気象台)

3. 農業の概要

豊富な土地資源と恵まれた気象条件を生かした北海道内でも有数の畑作地帯であり、大型機械を導入した営農集団組織による畑作3品（麦類・馬鈴しょ・てん菜）を中心とする大規模営農が展開されているほか、野菜類（長いも、ごぼう等）、豆類（大豆、小豆等）の生産や、酪農・畜産物の生産が行われています。

4. 農家戸数、専・兼業農家戸数及び農業従事者数の推移

(1) 農家戸数（専業・兼業別）及び人口の推移

年次	総世帯数	総人口	総農家	専業農家	兼業農家			備考
					総数	第1種	第2種	
H10	18,177戸	43,184人	482戸	331戸	151戸	111戸	40戸	(H11年2月末数値)
H15	15,517戸	41,885人	413戸	331戸	82戸	64戸	18戸	(H15年12月末数値)
H20	18,527戸	39,827人	382戸	321戸	61戸	53戸	8戸	(H20年12月末数値)
H25	18,576戸	38,233人	357戸	325戸	32戸	30戸	2戸	(H25年12月末数値)
H29	18,324戸	36,320人	340戸	302戸	38戸	36戸	2戸	(H29年12月末数値)

(資料：「網走市統計書」・「あばしりの農業」)(※総世帯数・総人口は住民基本台帳)

本市の農家戸数は、平成29年で340戸となっており、減少傾向が続いています。

このうち専業農家は、302戸で88.8%、兼業農家は、38戸で11.2%となっており、第1種兼業農家については、微増しております。

農家戸数の減少の要因としては、農業従事者の高齢化、担い手不足（後継者）、労働力不足等があげられます。

※専業農家：世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家のことです。

※第1種兼業農家：農業所得を主とする兼業農家のことです。

※第2種兼業農家：農業所得を従とする兼業農家のことです。

(2) 農業就業人口（年齢別）

(単位：人)

区分	総計	男	女	16～19	20～24	25～29	30～59	60歳以上
H10	1,172	665	507	4	34	66	781	287
H15	1,179	628	551	5	43	54	743	334
H20	1,126	622	504	0	44	77	696	309
H25	1,062	598	464	1	28	63	602	368
H29	1,003	564	439	2	18	49	542	392

(資料：「網走市統計書」・「あばしりの農業」)

本市の農業就業人口は減少傾向にあり、平成20年（1,126人）と平成29年（1,003人）を比較すると、123人（10.9%）減少しています。

また、男女比率は平成29年で男564人（56.2%）、女439人（43.8%）であり、男性の比率が高くなっています。

年齢別の構成では、高齢化の進行により60歳以上の占める割合が高く、平成29年では、男女合わせて39.1%となっています。

また、反対に30～59歳の割合が減少を続けており、後継者の確保や新規就農者の育成などが重要な課題となっています。

5. 経営規模及び農地集積状況

(1) 経営耕地面積規模別農家戸数

〔上段：戸数
下段：割合(%)〕

年次	耕作面積	農家戸数	10ha未満	10～20ha	20～30ha	30～40ha	40～50ha	50ha以上
H10	14,357	482	81	65	336			
			16.8	13.5	69.7			
H15	14,233	413	8	44	361			
			1.9	10.7	87.4			
H20	14,100	382	12	51	319			
			3.1	13.4	83.5			
H25	14,000	357	17	20	100	115	62	43
			4.8	5.6	28.0	32.2	17.4	12.0
H29	14,000	340	10	13	81	125	60	51
			2.9	3.8	23.8	36.8	17.7	15.0

(資料：「網走市統計書」)

経営規模別の農家戸数は、30ha未満の規模は減少し、30ha以上の規模は平成29年には、236戸で全体の約7割になっています。(※H25より面積区分を変更しています。)

(2) 農地集積状況の推移

(単位：ha)

			H24	H25	H26	H27	H28	H29	
所有権 移転	有償	3条 件数	2	11	10	7	6	8	
		面積	4.3	5.2	14.8	10.6	1.0	16.7	
	集積	件数	39	27	33	30	40	36	
		面積	157.3	129.3	172.8	121.3	173.9	123.1	
	無償	3条	件数	5	5	5	0	2	3
			面積	43.2	35	47.2	0	35.3	44.2
集積		件数	5	3	0	0	1	0	
		面積	2.9	4.2	0	0	0	0	
使用 賃借	3条	件数	10	11	17	12	14	9	
		面積	242.9	219.5	463.1	301.1	323.6	176.8	
	集積	件数	5	5	2	5	7	8	
		面積	31.3	24.7	5.6	23.7	72.8	47.3	
賃貸 借	3条	件数	5	3	9	4	6	11	
		面積	32.6	12.2	50.5	3.1	16.0	55.4	
	集積	件数	162	94	114	90	97	152	
		面積	798.1	465.7	581.5	525.3	496.5	744.4	

(資料：「農業委員会統計書」)

規模拡大の意欲がある状況の中で、斡旋による引き受け手の確保がなされ集積が進んでいるが、今後、条件不利による生産性の低い農地についての利用集積が進まないことが予想されます。

※3条：農地法第3条（権利移転）許可によるものです。

※集積：農業経営基盤強化促進法の農地利用集積計画によるものです。

6. 農作物作付面積の推移

(単位：ha)

	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成29年
大 麦	1,524	1,348	1,308	1,070	1,076
小 麦	2,420	2,282	2,652	2,983	3,242
大 豆	102	121	60	74	160
小 豆	180	286	217	320	253
菜 豆	25	40	27	42	22
てん菜	3,555	3,673	3,525	3,311	3,144
馬鈴しょ	2,779	2,929	2,956	3,035	2,728
野 菜	426	399	297	211	177
わさび	96	76	68	45	17
果 樹	12	13	8	6	10
計	11,119	11,167	11,118	11,097	10,829

(資料：「網走市統計書」・「あばしりの農業」)

農作物作付面積は、畑作3品を主体とする畑作専業地域であり、平成29年は麦類(39.9%)、てん菜(29.0%)、馬鈴しょ(25.2%)で94.1%を占めています。

また、平成27年度に国内で初となるジャガイモシロシストセンチュウの発生の問題などから「馬鈴しょ」から「小麦」への作付け変更が見られます。また、労働力不足などの要因により、「てん菜」や「野菜」の作付面積が年々、減少傾向にあります。

7. 家畜飼養動向

		平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成29年
乳 牛	頭 数	3,998	4,118	3,685	3,286	3,145
	戸 数	40	40	31	24	23
	平均頭数	100	103	119	137	137
肉用牛	頭 数	2,395	2,842	3,129	2,904	2,565
	戸 数	29	37	37	29	29
	平均頭数	83	77	85	100	88
馬	頭 数	186	166	114	108	74
豚	頭 数	59,086	58,426	54,251	44,649	44,714
めん羊	頭 数	49	27	41	27	10
鶏	羽 数	—	—	272	985	943
ブロイラー	羽 数	1,391,700	1,534,502	1,705,204	1,904,519	2,144,804

(資料：「網走市統計書」・「あばしりの農業」)

家畜の飼養動向は、「乳牛」の頭数は平成29年で3,145頭であり、減少で推移しています。

また、「肉用牛」については、平成29年で2,565頭であり、農家戸数の減少や肉用牛の価格高騰による出荷増及び導入経費の負担増などにより減少傾向にあります。

8. 農業生産額の推移

(1) 作物別農業生産額の推移

(単位：千円)

年次	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成29年
てん菜	3,979,249	4,290,933	3,420,357	3,148,527	4,478,652
馬鈴しょ	2,709,264	3,491,089	3,356,870	3,378,788	3,306,648
麦類	1,711,426	2,478,953	2,229,915	2,887,989	3,476,309
豆類	161,355	163,202	164,462	289,083	328,141
野菜	746,316	919,317	945,273	391,109	190,773
わさび	164,616	160,465	119,308	64,545	37,279
果樹	4,905	—	54,851	62,179	56,278
その他	187,743	—	—	—	—
合計	9,664,874	11,503,959	10,291,036	10,222,220	11,874,080

(資料：「網走市統計書」・「あばしりの農業」)

平成29年は、主要畑作3品のうち、「馬鈴しょ」は、平成27年度に発生したジャガイモシロシストセンチュウなどの影響により、作付面積が縮小され、生産額が減少しました。なお、「てん菜」は、作柄もよく、計画を上回りました。「麦類」は、「馬鈴しょ」から「小麦」への作付変更によって作付面積が拡大し、生産額が増額しています。

また、豆類については、作付面積の拡大により増額傾向にあります。野菜（長いも、ごぼう等）については、作付面積が年々減少傾向であり生産額が減額しています。

(2) 畜産物生産額の推移

(単位：千円)

年次	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成29年	
個 体 販 売	仔牛（雌）	14,203	乳用牛	乳用牛	乳用牛	乳用牛
	仔牛（雄）	15,583		282,323	93,438	130,060
	肉用牛	122,262	258,596	313,292	611,196	585,169
	廃用牛	28,369	40,718	59,631	63,920	71,876
	馬	22,376	5,413	823	1,725	—
そ の 他	牛乳	1,164,717	1,472,466	1,311,674	1,401,682	1,425,530
	畜肉	2,948,006	5,063,587	7,086,897	7,559,241	8,344,926
	ブロイラー	5,430,889	5,266,357	7,932,675	8,167,895	10,787,000
	（うち商系）	8,304,183	10,329,944	15,019,572	15,727,136	19,131,926
合計 （商系を除く）	9,746,405 (1,442,222)	12,389,460 (2,059,516)	16,798,430 (1,778,858)	17,935,719 (2,208,583)	21,389,232 (2,257,306)	

(資料：「網走市統計書」・「あばしりの農業」)

商系を除く畜産物生産額は、平成25年以降、肉用の黒毛素牛の個体販売額数が安定してきたことから、平成29年は、ほぼ横ばいの22億円台となっています。